

# 榊原 秀訓 先生

## 先生のプロフィール

### 【出身地】

静岡県

### 【専攻】

行政法

### 【近年(2~3年)の担当科目】

行政法翹論（基礎）（応用）、行政救済法（基礎）（応用）など

### 【コロナ後に行きたい場所】

特に無いが、調査という意味ではイギリスか

## （講演時の写真）



大学は「知の共同体」である。本来、それに相応しい「対話」がなされる必要があると考えている。以下の定型的な質問がマッチしているとは思えないが仕方ない。

## 1. 先生の研究内容、科目の魅力について

### ・講義時に心掛けていることはありますか？

開始時間に開始し、終了時間に終了すること（「定刻主義」。当然のようだが、簡単に授業を休みにし、時間にルーズな教員もいる）。

### ・新入生、初学者に向けて先生の研究内容、科目の魅力について教えてください。

説明できる頁数を用意して欲しい。紙幅が少ないので、テーマと私の本や論文の紹介にとどめる（すべてイギリスと日本の比較法研究。本は単著のみその旨明記）

#### ① 司法（裁判官任命などの司法行政）について

『司法の独立性とアカウンタビリティーイギリス司法制度の構造転換』（日本評論社、2016年）（単著）、「司法の独立性・アカウンタビリティーと裁判官任命制度」南山法学45巻3・4号（2022年）

#### ② 行政の民間化（民間組織が従来の行政を行っている状態）について

「行政民間化と現代行政法」『現代行政法の基礎理論』（日本評論社、2016年）『行政サービスのインソーシング』（自治体研究社、2021年）

#### ③ 議会（特に地方議会）や参加制度といった民主主義について

『地方自治の危機と法』（自治体研究社、2016年）（単著）第1部、「コロナ下の地方議会と条例」『コロナ対応にみる法と民主主義』（自治体研究社、2022年）

#### ④ 行政裁量（行政の判断選択の余地）の統制について

『行政裁量と行政的正義』（日本評論社、2023年）（単著）

### ・今の専門科目に興味を持った理由はなんですか？

もともと公務員希望であったから。

## 2. 先生が過去に担当していたゼミ（およびゼミ生）の特徴はどうでしたか？

公務員希望で、そのためにそれなりに「真面目」な者が少なくない。

## 3. 先生の学生時代の話・先生が勉強以外でも力を入れていたことはなんですか？

私の大学院時代の師匠であった室井力は、研究・教育・運動（市民運動や労働運動という意味での運動）、行政（学内外の行政・組織運営）の重要性を語っていた。自らの学生時代ということであれば、その中で「運動」であろうか。なお、「運動」といってもいろ

いろで、現在では、「社会評論」的な部分（雑誌、新聞、Webなどでのコメント）や、裁判所への意見書提出などが大きいであろうか。

・先生が学生時代に失敗したいことや後悔していることはありますか？

特に無い。失敗ということでは、大学に5年いたことか（大学院入学に2年かかったということ）。

#### 4. 学生のうちに経験すべきこと、つけておくべき力

各自が自由に決めれば良い。

・先生の好きな言葉（座右の銘）はありますか？

昔はあったが、それが何であったかすら思い出せない。これは記憶の問題ではなく、生涯続く「座右の銘」は存在せず、自らの言動がより重要になるから。

・もし先生が現代の大学生だったら、どんなことをしたいですか？

現在の学生とは年齢の開きが大きく想像ができない。昔とたいした違いはないのでないか。「しない」ことなら簡単。馬鹿教員の授業は受講しないこと。

・もし先生が面接官だったらどんな学生を採りたいですか？

この質問も経験がないから回答できない。そもそも大学教員は、基本的に「個人経営」であることから、その意味でも想像ができない。

#### 5. 学生に向けて一言お願いします

「学」生になった以上は、せっかくのチャンスなので学べば良い。「教科書」、「条文」、「判例」をみないといった「三ない」運動をしても仕方ない。もっとも、すでに終わった事件だけ勉強しても（えてして法学はこのようになりがちである）面白みに欠ける（資格試験などでは重要かもしれない）。国内外の社会の動向をみて、専門分野の知識に照らしてどのように評価できるか考えたらどうであろうか。大きな関心をもつようならば、それを飯の種にする（研究者などを旨とする）のが良い。

★アドバンスト 榊原ゼミの実態！（2022年度ゼミ生5名）

★榊原先生のトリセツ

とても真面目な先生で、いつも冷静。

日々や休暇中の課題

活動内容

##### 【日々の準備、課題】

アドバンスト演習では、ゼミ生が少数であったため、個人で発表を準備し、発表。

発表担当以外の生徒は、発表に対しての感想や質問を言う。

##### 【長期休暇課題】

夏に判例評釈の課題があった。

判例をよみ、まとめながらゼミ内で発表する。発表者は週ごとに異なり、発表に向けての準備をする。発表を受けて、先生が補足や質問をした後に、他の生徒が質問や自分の感想などを述べる。